



杉並区議会議員(無所属)

岩田いくま 区政報告

第33号(平成24年新年号)

発行:岩田いくま 〒168-0082 杉並区久我山5-24-30-103

TEL/FAX;03-3247-8660 E-Mail;ikuma@gakushikai.jp

HP;http://ikuma-iwata.net (←毎日更新しています！)

岩田いくま(生真)略歴:昭和46年(1971年)生。都立西高、東京大学卒。外資系コンサルティング会社勤務を経て、平成15年5月より杉並区議会議員。平成23年5月より3期目。

趣味:バレーボール(大学時代は母校で部活動のコーチを行う)、読書。

家族:妻、長男(8歳)、長女(6歳)、次男(4歳)。

平成23年区議会第4回定例会の3日目(11月22日)、「安心まちづくり」と「ふるさと杉並」をテーマに一般質問を行いました。以下、その概要を取り上げます。

質問のテーマ

【安心まちづくり】

- コミュニティ交通(次頁参照)
- 成年後見制度(次頁参照)
- 危機管理体制
- 青色防犯車両(民間等パトロール車両)
- 暴力団排除条例(次頁参照)
- **学校防災キャンプ**

【ふるさと杉並】

- 長寿応援ポイント
- **郷土博物館**

<岩田いくまの質問>

区内の小中学校において、**学校に宿泊して実践的な防災教育を行う「防災キャンプ」**事業は、

- ①どれくらい行われているか。
- ②その実施主体はどのような組織か。
- ③区としてこの事業の意義をどのように捉えているか。

(質問の背景)

文部科学省は、震災対策の強化として、来年度予算の概算要求に「防災キャンプ」事業を盛り込みました。

一方で、区内では既に同様の取組みが多く行われております(私自身の活動も、前号で取り上げました)。

国の状況を踏まえ、区の現状及び今後の対応について確認しました。

<区の答弁>

- ①25校で実施している。
- ②おやじの会等を中心にした実行委員会形式が多い。
- ③児童・生徒が震災時など非常事態に落ち着いた対応が図れるように事前に体験することや、地域の方々に震災救援所となる学校をよく知ってもらうことは重要であり、有効な事業と考える。今後、国の予算措置の状況等を注視していきたい。

<岩田いくまの質問>

郷土博物館について、

- ①しっかりとした理念を定め、そのうえで常設展示における**近現代の展示を充実させる等、魅力を高める取組みを期待**するが、見解を問う。

- ②学校教育における利用が、小学校の6割(43校中26校)にとどまるが、今後に向けた対応を問う。

(質問の背景)

平成24年は、区制80周年となります。この機会を捉え、郷土理解を高めるための方策について、質問しました。

なお、学校教育での郷土博物館の活用に関しては、長男(小3)から聞いた学校生活の話も参考となりました。

<区の答弁>

- ①現在、**常設展の見直しを検討**している。また、区制80周年に合わせた特別展の開催を企画しており、その成果も常設展の近現代展示に生かすことを考えている。

- ②立地条件等の制約があるが、児童・生徒が郷土博物館を学習に活用することは、人々の生活の移り変わりに係わる展示資料や遺跡・文化財等を通して、歴史や郷土への理解が深まると考えている。教員を対象に授業での活用をすすめる説明の機会を設けることや、特別展示の企画を工夫する等していきたい。





岩田いくまの質問

一般質問(P.1の続き)

区の答弁

コミュニティ交通

交通不便地域の解消に向け、小平市で行っているワゴン型車両の利用や福岡市で行っている乗合タクシー等、これまでとは異なる交通手段の活用も含めて移動の足の確保に努めるべきと考えるが、見解を問う。

(質問の背景)

高齢社会の進展とともに、「移動のしやすさ」が一層重要になってきます。

これまで杉並区では南北バス「すぎ丸」を3路線運行しておりますが、同様の形態での増設は、警察による車両制限令の判断基準が厳しくなったことにより、非常に難しい状況です。

こうしたことから、自ら訪問した他自治体視察での調査も踏まえ、今後の取組みについて、質問しました。

今後はコミュニティバスだけではなく、ご指摘のワゴン型車両を使ったコミュニティタクシー等、あらゆる交通手段が相互に連携補完できるような、地域交通のあり方やシステムの構築について、検討を進めていきたい。



成年後見制度

当区におけるこれまでの区民後見人育成の状況、及び今後の取組みについて伺う。

(質問の背景)

杉並区では、平成18年に成年後見センターを設立するとともに、地域大学で区民後見人の養成を行う等、成年後見制度の活用を図ってきました。

一方で、平成24年4月施行の改正老人福祉法において、区民後見人の育成が自治体の努力義務とされます。

こうした機会を捉え、改めて今後の取組み等について、確認しました。

* 成年後見制度・・・判断能力が不十分なために、財産管理や契約などの手続きが困難な者に対し、本人の行為の代理または行為を補助する者を選任する制度。

現在は11名の方が区民後見人候補者として登録し、1名の方は実際に後見人として活動した実績がある。

法改正に対しては、基本的には現在の取組みのなかで対応していけるが、今後も引き続き区民後見人の育成に努めるとともに、法人後見の支援員としてなど活動の幅を拡げていきたい。



暴力団排除条例

①平成23年10月に、東京都暴力団排除条例が施行された。基礎自治体である杉並区での条例制定の必要性を問う。

②条例制定に向けた検討状況、今後の予定及び条例案の概略を問う。

(質問の背景)

平成23年10月に東京都と沖縄県で暴力団排除条例が施行され、全ての都道府県で条例が出揃いました。また、都内の区市町村でも、独自条例を制定する動きがあります(制定済:府中市、新島村、渋谷区、立川市。制定予定:豊島区、八王子市等)。

こうしたなかで、杉並区としての取組みを問いました。

* データは、平成23年11月段階です

①区の契約事務や区の公の施設の貸出しなど、区の権限で行うものまでは都条例で定めていないため、区としてのルールづくりが必要である。

②今般条例案をとりまとめた。

内容は、制定済みの区市と大きな差異はないが、暴力団排除の目的や基本理念とともに、区や区民の責務、区の取組み等を盛り込んでいる。12月中に区民意見提出手続きを行い、平成24年2月の第1回区議会定例会に条例案を提案する予定である。

* 質問は、平成23年11月に行っております



議会改革特別委員会

昨春の改選後に発足した議会改革特別委員会では、区の新たな総合計画(平成24年度～33年度)策定に合わせ、**総合計画を議会の議決対象とする新規条例の制定**について話し合ってきました。

私自身は、自治体経営のあり方として、**総合計画を単なる行政計画(執行機関が単独でつくるもの)ではなく、議会の議決を経た“自治体計画”**とすべきと以前から考えております。

また、**議会としても、長期の計画に議決を通してしっかり責任を持つことがあるべき姿**だと考えております。

そうしたことから、委員会でも積極的に発言を行い、夏の段階では議会の総意として条例制定が可能かに見えましたが、最終的には議会内第2～第4会派が条例制定に反対の意を表明されました。

私の所属する会派	平成23年8月			平成23年12月	
杉並自民区政クラブ(11名)	○	議決対象とすべき	➡	○	議決対象とすべき
杉並区議会公明党(8名)	○	議決対象とすべき	➡	×	今の段階では、議決すべきものという結論には至っていない
民主・社民クラブ(7名)	○	議決対象とすべき	➡	×	総合的な判断から、総合計画は議決対象になじまない
日本共産党杉並区議団(6名)	△	議決対象とすることも、やぶさかではない	➡	×	区長の執行権にかかわる問題を持っている

議会とは多様な民意を反映する場ですので、意見がわかれるのは致し方ありませんが、私自身にとっては非常に残念な結果となりました。

議会改革の難しさを改めて実感しております。

【幼稚園おやじの会】

11月13日、幼稚園おやじの会(チーム・パパ)主催で、「**流しそうめん大会**」を実施しました。

この企画、毎年のように持ち上がりながら、なかなか実現しなかったものです。

今回は何度も準備のために集まり、近隣の方からいただいた太い竹を割るところから全て手製で、幼稚園の園庭の端から端までにわたる巨大水路をつくりあげました。

当日は、子供達だけでなく、お母さん達も喜んでいました。



地域活動

【くがやま青空市】



10月22日及び12月11日、久我山駅前(南口)で開催された「くがやま青空市」を手伝いました。

この青空市は、私もメンバーであるNPOが商店会と組んで行っており、地産地消に向けて、久我山界隈の農家さんの新鮮野菜、及び杉並区の友好都市である

青梅市の野菜・卵を取り扱っています(青梅市の仕入れ先である「きのこ園」と「養鶏場」へは、私も平成22年8月にNPO代表と訪問しました)。

なお、このNPOは20代～30代前半の人達が中心を担っています。

若い世代による地域活性化を目指したこうした取り組みは、できるだけ協力していきたいと思えます。

なお、次回は2月18日・19日に開催される予定ですので、よろしければ足をお運びください。



中学校対抗駅伝のスタッフ用ジャンパーです

前号でお知らせした通り、平成23年10月に「杉並区議会スポーツ振興議員連盟」が立ち上がりました。

その活動として、12月6日には鈴木寛参議院議員を招いて「スポーツ基本法」の勉強会を行い、12月11日の「杉並区中学校対抗駅伝大会」では、走路員としてお手伝いをしました。

スポーツ基本法の勉強会では、「中学生女子で子供の運動習慣の2極化が顕著なこと」や、「総合型地域スポーツクラブが地域活性化に果たす効果の高さ」等をデータで示していただきました。

当区の新しい実行計画(平成24年度～26年度)でも、「スポーツ推進計画の策定」が盛り込まれる予定ですので、しっかり取り組んでいきたいと思えます。

区政に関する 意見交換会 開催

(入場無料)

- 第49回 2月5日(日) 15:30～17:00
久我山会館(久我山3-23-20) 第一・第二集会室
- 第50回 2月8日(水) 19:00～20:30
高井戸地域区民センター(高井戸東3-7-5) 第一・第二集会室
* 仮設建物ですのでご注意ください

意見交換会の内容

□ 平成24年度予算(案)等

✓ 平成24年2月から始まる区議会第1回定例会では、

- ①基本構想(平成24年度～平成33年度)
- ②総合計画(平成24年度～平成33年度)・実行計画(平成24年度～平成26年度)
- ③平成24年度予算
- ④減税基金条例の廃止

が一括で審議される予定です(現状、②は議決対象外)

来年度予算(案)を中心に、①～④について皆様のご意見をお伺いしたいと思っております。

ぜひご参加
ください。



＜キリドケ＞線

＜キリサ＞線

区政や岩田いくまに対する質問・ご意見・
ご要望をおきかせください。

FAX: 03-3247-8660

E-Mail: ikuma@gakushikai.jp

お名前:

ご住所:

TEL:

FAX:

E-Mail:

質問・ご意見・ご要望: